

環境課

## 港区環境基本計画（素案）に寄せられた区民意見について

### 1 区民意見募集（パブリックコメント）

(1) 募集期間 令和2年12月1日～令和3年1月5日

(2) 人数・件数

人数	9人
うち郵便	1人
インターネット	6人
FAX	1人
持参	1人
件数	56件

※件数は、複数の内容を含んだ区民意見を分割した後の件数です。

※港区一般廃棄物処理基本計画（第3次）（素案）に寄せられた意見は含みません。

※港区環境基本計画（素案）の概要を説明した動画の視聴回数は126回でした。

### 2 区民説明会での参加者意見

(1) 開催期間 令和2年12月5日～同月16日

(2) 開催回数・参加者数・件数

開催回数	7回
参加者数	10人
件数	28件

※港区環境基本計画（素案）及び港区一般廃棄物処理基本計画（第3次）（素案）は、合  
同で区民説明会を実施しました。

※各地区の参加者数は以下のとおりです。

芝地区：5人、麻布地区：3人、赤坂地区：2人、高輪地区：0人、

芝浦港南地区：0人

※港区一般廃棄物処理基本計画（第3次）（素案）に寄せられた意見は含みません。

**港区環境基本計画（素案）に寄せられた区民意見  
（区民意見募集（パブリックコメント））**

No	区民意見	区分
1	羽田空港新飛行経路の運用について、絶え間なく続く騒音、飛行機からの落下物、墜落への不安など、低空飛行によって直接影響、被害を受けるのは多くの区民であり区内に働き学ぶ人たちである。港区として国に対し危険な都心低空飛行を止め、従来の海上ルートに戻すよう強力に言うべき。環境基本計画の柱の一つにすべき。	郵便
2	二酸化炭素排出量の多くは事業所からと言われている。これ以上、まちこわしの超高層ビル、高層マンション建設、道路建設などは止めるべきでないか。自然豊かな港区の街を壊さないことが地球環境を守ることに繋がると思う。	郵便
3	先日環境審議会を傍聴したが1時間半という短時間で発言しないまま終了した方も複数名いた。目的が素案についての理解促進と意見の吸い上げと反映であるなら、機能を果たしていないように感じた。とてももったいない。もっと市民が参画できる仕組みにすべき。	インターネット
4	素案18ページについて、17ページで二酸化炭素排出総量と割合の話をしているので、まず区有施設の二酸化炭素排出量をグラフで示した方がよい。平米当たりを目標値としているのは理解できるが、唐突に平米で表記されるとごまかそうとしているような印象を受ける。	インターネット
5	素案18ページで唐突に「SDGsへの貢献とともに」という文言が出てくるが、ここに挿入する意味はない気がする。SDGsという言葉を使うと文章の意味がぼやけるので別の言葉に置き換える方がよい。	インターネット
6	素案21ページで、2050年に排出量69.7万トンになっていると想定されている。この69万トンはカーボンオフセットをすることになると思うが、2017、2026年などのカーボンオフセット実績値や目標値があれば教えてほしい。	インターネット
7	素案21ページに、建築物の低炭素化促進制度と温暖化対策報告制度による効果・削減目標値が示されている。これはどのような設定や基準を、いつ設けたと想定しての数字か。	インターネット
8	素案24ページに区有施設の面積当たりの目標が出ているが、二酸化炭素削減はあくまで総量が重要である。総量をまず表示し、その内部目標として面積当たりの目標値を設定、表示すべき。また年号ではなく西暦で表示してほしい。経年で物事を確認する場合には年号だと頭の中で変換が必要になるためスムーズに区民が理解できることを目指すのであれば西暦の方がよい。	インターネット
9	素案24ページでアンケートの%表示がされているが、有意のアンケート母数は何件としているか。%だけでなくx件/y件を示してほしい。	インターネット
10	素案25ページの新築建築物の省エネルギー化について、義務付けの省エネ性能基準とは具体的に何を指すか。	インターネット
11	素案25ページの努力義務の優秀水準とは具体的にどのような水準か。また、何件が対象で何を義務付け、どのような目標設定としているのか。	インターネット
12	素案25ページの既存建築物の省エネルギー促進について、温暖化報告書制度の報告書の基準、目標、成果について知りたい。	インターネット
13	素案26ページに再生可能エネルギーの導入拡大とあるが、省エネコンサルの派遣回数、費用、年度推移の実績と目標値を教えてください。また、派遣回数や規模と二酸化炭素削減量はどの程度の相関を持たせているのか。	インターネット
14	素案28ページの緑化による二酸化炭素吸収は、面積当たり何トンと設定されているか。	インターネット
15	素案29ページの港区区有施設環境配慮ガイドラインと港区の電力調達方針についての説明がほしい。またどのように強化していくのか。	インターネット
16	素案32ページの港全国エネルギー連携事業の実績が知りたい。	インターネット
17	素案42ページのプラスチックの使用抑制と資源循環について、meccのような組織で、費用が発生しないもっとライトな組織形態を作って区民、事業者を巻き込んで達成に向けて行動していきたい。	インターネット
18	全体的に、SDGsアイコンが小さくて全く目に入らない。アイコンはいらぬのでは。もしくは前半にもっと明確にSDGsアイコンごとの説明等を載せて、SDGsの項目1つ1つの意味を区民に本気で知らせるかどちらかだと思ふ。中途半端にアイコンを入れても意味がない。	インターネット

No	区民意見	区分
19	別冊10ページで、128事業者から127万トンが排出されているとのこと。これは消費者としても市民団体としてもぜひ各社に声かけをしていきたい。港区にももちろん頑張っていたいただきたいが、市民も頑張る。事業者リストの提供を要望する。	インターネット
20	別冊13ページのZEHマンションの規定はあるのか。	インターネット
21	素案21ページについて、脱炭素社会の実現に向けた港区、区内での取組を明確にするため、「区は、2050年までに温室効果ガスの排出量が実質ゼロとなる脱炭素社会の実現に向けて、区内の二酸化炭素排出量の更なる削減に取り組めます。」と変更すべき。	インターネット
22	素案26ページのエネルギーの面的管理・利用の促進について、「港区低炭素まちづくり計画、2019年2月」の施策1(2)「エネルギーの面的管理・利用の促進」において、1)高効率なエネルギー面的利用の導入促進、2)スマートエネルギーネットワークの推進が具体的な施策として示されており、表現の整合を考慮して、具体的な記述が必要である。また、整合を図り、58ページの環境に配慮した適切なまちづくりの誘導、開発事業等の適切な誘導について、「エネルギーの面的管理・利用の促進を通じた」地域におけるエネルギーの有効活用～と追記すべき。	インターネット
23	災害時における電源確保の重要性がますます高まっている。「港区まちづくりマスタープラン 2017年3月」の方針5に災害時に備えた自立分散型エネルギー供給機能の確保の必要性が示されており、気候変動に適応した強靱なまちづくりにおいては、将来の風水害による被害の激甚化に備え、風水害による大規模な停電に対応した自立分散型エネルギーの確保が重要と考える。素案35ページの取組4-①ZEVの電源活用だけでは十分と言えないため「自立分散型エネルギーの確保」についての取組を追加すべき。また、整合を図り、素案92ページ防災分野との連携に、「コージェネレーションや家庭用燃料電池」、「再生可能エネルギー機器等の自立分散型エネルギー」を追加すべき。	インターネット
24	基本目標1「脱炭素社会の実現と気候変動への適応による安全・安心なまち」施策1の目標「区内の二酸化炭素排出量」について、二酸化炭素排出量は、H25年度排出量比からの次の比率を削減目標として設定すること。 令和5年：30%、令和8年：41%（令和12年：52%） これを実現するための計画を立てること。	インターネット
25	基本目標1「脱炭素社会の実現と気候変動への適応による安全・安心なまち」施策1の目標「区有施設の面積当たりの二酸化炭素排出量」に、区内の二酸化炭素排出量削減比率に準ずる比率で排出量目標を設定すること。 令和5年：30%（H25年度比）、令和8年：41%（H25年度比）	インターネット
26	区内新築建築物のZEH/ZEBの早期義務化を要望する。	インターネット
27	港区建築物低炭素化促進制度の対象建築物面積の引き下げ及びERR基準の引き上げを要望する。	インターネット
28	既存建築物への省エネルギー化、再生可能エネルギー利用促進を徹底強化すること。	インターネット
29	区の「地球温暖化対策助成制度」の徹底周知に加え、さらに強化すること。	インターネット
30	国、東京都、港区による補助金を効果的に活用できるように包括的な説明を表し、周知すること。	インターネット
31	区内事業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人などへRE100宣言をするよう要請すること。	インターネット
32	ちいばす全車を早期にEVにすること。	インターネット
33	港区を走行する都バス、空港関係バス、観光バスを運営する各社に早期にEVにするよう要請すること。	インターネット
34	建設中の区立学校、その他区有施設（があれば）のZEBを実現するために計画を変更すること。	インターネット
35	既存の区有施設については、断熱改修・燃料電池導入や地熱の活用を早急に進め、2030年までにゼロエミッション化を実現すること。	インターネット
36	二酸化炭素削減の促進と災害時における電源確保のため、区の取り組みとして、風力発電など再生可能エネルギーによる発電を行うこと。	インターネット

No	区民意見	区分
37	区内既存築建築物の省エネ改修・ゼロエミッション化の最大限の促進（国、東京都、港区の補助金、助成金制度を全区民、全事業者へ周知を徹底し、活用を促進する）を要望する。	インターネット
38	みんなでいっしょに自然の電気（みい電）キャンペーンを促進するための周知の徹底を要望する。	インターネット
39	省エネコンサルタントの存在、支援について、区内事業者、区民への周知の徹底を要望する。	インターネット
40	「みなと全国連携エネルギー登録制度」に関して、小売電気事業者への周知を要望する。	インターネット
41	創エネルギー・省エネルギー機器等導入に関する補助金制度についての区民、集合住宅、管理組合等、中小企業、個人事業者への周知の徹底を要望する。	インターネット
42	温暖化による健康被害、食料供給・水供給に係るリスクについて、区内事業者、区民への普及・啓発の強化を要望する。	インターネット
43	目標4、および目標5に共通する要望として、人の生活における、生物多様性と生態系サービスの意味、さらには、地球温暖化問題との関係性についての教育、啓発の強化をあげること。	インターネット
44	プラスチックの健康や環境への影響を伝え、プラスチックの使用についての適切な判断ができるよう促すこと。	インターネット
45	区内の飲食店からのテイクアウト、野外イベントの飲食において、消費者が持参した容器でも提供を受けられるよう、提供側の受け入れと工夫を推奨すること。バイオプラスチックなどの代替の素材を推奨するだけでは不十分である。容器持参が普通である社会にしていすべきである。	インターネット
46	区内のコンビニや自販機における飲料ペットボトルの販売を軽減していく取組を要望する。区内のペットボトル飲料の生産者、販売者と調整しながら、販売量を減らしていく必要がある。	インターネット
47	各施策に共通することであるが、プラスチック問題、食品ロス問題、資源の問題など、各課題や行動ごとの普及啓発ではなく、地球全体の環境、生態系サービス、健康にどのように被害があるのか、それを起こしているのは、大量生産、大量消費の私たちの社会生活であることがわかるような教育・啓発を要望する。これまで通りの生活様式では、ごみは減らないし、資源の十分な循環は望めない。地球環境が脅かされることを多面的に教育、啓発する必要がある。	インターネット
48	施策8、9について、科学的な数値など問題を反映する目標を設定すること。公害苦情件数、環境影響調査審査会の開催数は、健康で快適にくらせるまちの指標にはなっておらず、目標として適切ではない。公害に関しては科学的数値が、環境への配慮に関しては、建設や大規模工事に関する件数に対する環境アセスメントの評価数や課題解決数など、問題を解決する一助になるような指標が望ましい。	インターネット
49	2021年度から2026年度までの6年間を計画年度として策定しており、2023年度に計画見直しとあるが、近年の環境に関する状況の劇的な変化に対応し、スピード感を持って計画をより良いものにしていくためにも、少なくとも1年おきに計画の見直しをしてほしい。	インターネット
50	港区は事業者が多く、東京都や国全体と比較しても民生業務部門からの排出割合が非常に多い。事業者には本社機能を港区に置く企業も多く、事業者のサプライチェーン全体を考えると、港区の事業者が他地域の二酸化炭素排出に与える影響が非常に大きいと考えられる。そのため、企業の二酸化炭素排出削減に向けて、行政の働きかけにより注力してほしい。また、それを実現するための仕組み化（炭素税やその他インセンティブ等）もしてほしい。	インターネット
51	基本目標1として2050年までの脱炭素社会の実現について言及しているが、ゼロカーボンシティ宣言はいつ行われるのか。されない場合は、その理由を聞かせてほしい。都内で二酸化炭素排出量が最も多い区だからこそ、区民の意識・行動レベルの向上のため明確なメッセージを発信する必要性を感じる。	インターネット
52	2050年カーボンニュートラルに向けて、2030年二酸化炭素排出量半減、再生可能エネルギー60%以上、区有施設の再生可能エネルギー100%とゼロエミッション化を2025年目標とすること。	インターネット
53	港区として、国・東京都が強制してくる無謀・危険極まりない羽田空港新飛行経路計画に、敢然と反対する内容を表明してほしい。	FAX

No	区民意見	区分
54	<p>パリ市内では、古いビル屋上に10年間で30haもの農園がつくられ、壁に沿って育てたホップを使った地ビールのミニ醸造所もできているらしい。港区内に多い古い低層ビルを利用すれば緑被率向上につながる。また、「楽しく美味しい都市緑化」で賛同者を集められる。さらに、「23区内で緑被率1位をめざす」のようなわかりやすく前向きな標語を使うと努力目標が明確になる。</p>	持参
55	<p>猛暑の中で交差点やバス停から少し離れた街路樹の下で日差しを避ける人の姿を見かけるようになった。緑被率が高い海外の都市では、直射日光を遮るように枝を大きく広げた街路樹の木陰をたどって住民が歩いていた。港区の街路樹も大きく育てる方向へ転換する時期ではないか。標識の視認性、落ち葉への苦情などの問題もあるだろうが、住民の健康対策、二酸化炭素削減につながる。</p>	持参
56	<p>ミニ生物多様性スペースになる30cm四方の草むらづくり、道路のガードレール下の幅30cmを利用した在来種による緑化を提案する。通勤通学に利用する道すがらや散歩時に見つける小さな緑も、見た目の緑被率の向上に寄与する。</p>	持参

**港区環境基本計画（素案）に寄せられた区民意見  
（区民説明会での参加者意見等）**

No	区民意見	区分
1	運河の水質問題の根本的原因は、下水処理場から未処理の汚水が流されることにある。仮に東京都が法令に違反する放流を行っているのであれば、区はそのことを指摘すべきである。また、雨天時の調査は、水域の水質調査ではなく、排出口から放流される排出水の水質を計測すべきではないか。	区民説明会 （芝）
2	2050年度二酸化炭素排出実質ゼロを掲げたことは評価できるが、2030年度の目標「2013年度比マイナス40%」は非常に低い目標ではないか。もっと高めていただくようお願いしたい。	区民説明会 （芝）
3	区民に環境基本計画の内容を周知し、理解を求めることは重要である。区民説明会の参加状況を教えていただきたい。	区民説明会 （芝）
4	令和2年3月から始まった都心低空飛行の問題は、住民や働く人の住環境を脅かそうとしている。騒音問題に加え、ジェット機の排ガスによる大気汚染（PM2.5）が長期的に健康に障害を及ぼすことが明らかになっている。都心低空飛行問題を環境基本計画の大きな柱に位置付けてほしい。	区民説明会 （芝）
5	素案24ページ施策2の目標において、区域外の森林整備に貢献する目標値が毎年同じ数値になっているのはなぜか。	区民説明会 （麻布）
6	港区建築物低炭素化促進制度について、省エネルギー性能基準を義務付ける対象を詳しく知りたい。	区民説明会 （麻布）
7	省エネコンサルタントの派遣について、どのような場合に省エネコンサルタントにお手伝いいただけるのか。	区民説明会 （麻布）
8	ちいばすについて、全車に電気自動車を導入する計画はないのか。また、現在、ちいばすの車両は何台あるのか。	区民説明会 （麻布）
9	取組1-④緑化による二酸化炭素吸収の具体的な計画を知りたい。	区民説明会 （麻布）
10	取組1-⑤区有施設におけるゼロエミッション化の具体的な計画を知りたい。新築施設はZEB化するということか。	区民説明会 （麻布）
11	港区区有施設環境配慮ガイドラインによる省エネルギー化について、省エネ率を今後上げることは考えているのか。	区民説明会 （麻布）
12	取組2-③全国連携による再生可能エネルギー導入の進捗、区内事業者による認知度、今後の具体的な計画及び目標について教えてほしい。	区民説明会 （麻布）
13	創エネルギー・省エネルギー機器等設置費助成の具体的な計画を教えてほしい。	区民説明会 （麻布）
14	家庭用燃料電池システム（エネファーム）の導入支援に関する具体的な計画を教えてほしい。	区民説明会 （麻布）
15	災害時における区内の発電に関し、具体的なプランはあるのか。	区民説明会 （麻布）
16	素案86ページについて、区民の関心を高めることは非常に難しい。何らかのインセンティブを設ける工夫が必要だと思う。	区民説明会 （麻布）
17	素案21ページの二酸化炭素排出量の削減目標について、加速度的に国や都の政策が変わっている。来年度の計画期間開始前に目標を見直すことはあり得るか。また、3年後の中間見直しより前倒しで計画や目標を見直す可能性はあるか。	区民説明会 （麻布）
18	みなとタバコルールの普及啓発について、総合支所が実施する生活安全や環境美化のキャンペーンと連携して、効果的に実施してほしい。また、港区喫煙場所マップについて、区内を巡回する指導員に配布してもらうなど、効果的に活用してほしい。観光客用にホテルにマップを置いているか。	区民説明会 （麻布）
19	アメリカには、自転車を車体前方に積めるバスがあり、最寄りのバス停まで自転車で移動し、バス降車後に再び自転車で移動できる。ちいばすやレインボーバスに導入できないか検討してほしい。	区民説明会 （麻布）
20	非常に見やすい冊子になっているが、別冊に詳細が書かれている事項がある場合、計画素案に別冊の該当ページが記載されているとより親切だと思う。	区民説明会 （麻布）

No	区民意見	区分
21	素案17ページ表題下の数行の文章について、改行されているところが文章の区切りであることがわかるように表現してほしい。	区民説明会 (麻布)
22	外来種への対策は主に陸上生物について書かれており、水域の外来種への対策に関する記述が乏しいように思う。	区民説明会 (麻布)
23	区ホームページの検索システムで素案を検索すると、3年前のパブリックコメント時の資料が表示される。	区民説明会 (麻布)
24	計画素案は非常に緻密に検討されていると思うが、区民に十分伝わっていないのではないかと。この計画に基づく取組に関わろうと思う人が集まるきっかけとなるような端的なアピールが必要ではないか。また、区役所にSDGs担当部署を設置するなど、外部から見て分かりやすい変化を起こすことも大切だと思う。	区民説明会 (赤坂)
25	2050年度二酸化炭素排出実質ゼロの目標を達成するために、カーボンオフセットを使うことになると思うが、そこに至る過程の2030年、2040年の段階で、カーボンオフセットの活用を含め、どのように削減を進めることを考えているのか。	区民説明会 (赤坂)
26	取組1-①建築物の省エネルギー化とエネルギー利用の最適化による、建築物低炭素化促進制度と地球温暖化対策報告書制度の削減効果の数値が大きいですが、どのように見込んでいるのか。	区民説明会 (赤坂)
27	素案24ページの「港区の地球温暖化対策に関する区民アンケート調査」の母数を教えてほしい。	区民説明会 (赤坂)
28	省エネコンサルタント派遣について、派遣実績と効果の見込みを教えてください。	区民説明会 (赤坂)